



2023 JR総連春闘を職場から闘おう！シリーズ③

要求の満額回答を！趣旨説明を行う！

第 1 回 団 交

本部は本日、2023年度賃金引き上げ、夏季手当及び諸要求の申し入れに対する第1回団体交渉を開催し、下記の通り、要求の趣旨説明を行いました。

2023年度賃金引き上げ、夏季手当及び諸要求の趣旨（要点）

◆令和5年3月期、第3四半期決算では連結で1,806億円もの利益を計上した。赤字から黒字へと飛躍的に経営が改善したことは、組合員・社員の努力の結果である。しかし、会社はその奮闘に報いることもなく、昨年期末手当を2.7ヶ月という低額に抑え込んだ。これは、安定的支給ベースを信用していた全社員の気持ちを裏切ると共に、全社員の生活設計を破壊した。

◆総務省が発表した2022年12月の全国消費者物価指数は前年同期比4%とされ、第2次石油危機の影響が続いていた1981年12月以来41年ぶりの高水準となっている。今後も多岐にわたりあらゆる生活必需品の相次ぐ値上げが予定されている。その上、石油をはじめとしたエネルギー資源の電気・ガス等の高騰により光熱費の拡大を招き、組合員・社員の家計を直撃している。

◆実質賃金の価値はますます目減りしている。従って、大幅な賃上げ完全実施・夏季手当の大幅支給を実施すべきだ。この2年間、賃上げを実施してこなかったことへの実損回復でもある。

◆一方、役員報酬は自主返納を止め、高額な報酬を維持している。リニア建設を進めていることは、組合の要求に応える経営体力は十分ある。

◆従って、賃金引き上げと夏季手当及び労働条件の大幅な改善等を、組合の要求通り実現せよ。